

函館北ロータリークラブ会報



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

2017~18年度 国際ロータリー テーマ

ロータリー：変化をもたらす

2017~18年度 国際ロータリー会長

イアン・ライズリー

深瀬晃一 会長 テーマ “地域を愛し、地域を育む”

★会長 深瀬 晃一 ★幹事 斎藤 秀司

《第2605回例会》第38号 6月20日(水)

本日のプログラム

夜間例会 会長ごくろうさん会

於 フォーポイントバイシェラトン函館 午後6時30分～



6月13日 卓話
村井 茂 会員

2017~2018 <第2604回例会>

第37号 6月13日の記録

- ◎司 会 深瀬 晃一 会長
- ◎斉 唱 それでこそロータリー、四つのテスト
- ◎ゲ ス ト 国際ロータリー第2510地区ガバナー補佐
11グループ担当 黒島 一生 氏 (函館東R.C.)
次年度ガバナー補佐
11グループ担当 田嶋 英人 氏 (函館五稜郭R.C.)

◎黒島ガバナー補佐挨拶

昨年7月に11グループのガバナー補佐に就任して、1年経ちました。北RCには普段からメイキャップに来ていたので、楽しく参加させていただきました。1年間なんとか務めることができたのも、ロータリーの友情に支えられたお陰と感謝申し上げます。



◎田嶋次年度ガバナー補佐挨拶

当クラブは公式訪問が11月と少し遅いですが、年4回訪問せよと堅く言われており、その前に一度参ります。東RC、五稜郭RCとガバナー補佐を出しているの、次はぜひとも函館北RCでお願いします。地区からは9月までに報告するよう指示があるので、よろしくをお願いします。



- ◎会長報告 深瀬 晃一 会長
- 第16回 理事会報告
- 事務局米田さんが6月末で退職します。



◎幹事報告 斎藤 秀司 幹事

- すでにご案内しておりますが、6月20日の例会は夜間例会となっております。
- 和歌山城南RCより会報が届いたので回覧します。
- 会員の推薦がございました。異議申し立てのある場合は6月19日までに書面で理事会に提出して下さい。
- 他クラブ情報 6月19日(火)函館セントラルRCは移動例会、6月25日(月)函館亀田RCは夜間例会です。

◎親睦活動委員会 増山 正 委員長

ニコニコBOX投入報告

国際ロータリー第2510地区ガバナー補佐11グループ担当黒島一生様……一年間お世話になりましてありがとうございました。

深瀬会長……本年度最後の通常例会です。よろしくお願ひ致します。

山下会員・森会員・弗田会員・成田会員・吉田会員……両ガバナー補佐を歓迎して。

増田会員……村井会員の卓話楽しみにしております。村井会員……卓話よろしくお願ひ致します。

◎卓話「いま、興味を持っていること。自動運転」

プログラム委員長 村井 茂 会員

中国で研究されている自動運転シティ…街中に設置されたセンターが、信号や歩行者の情報を発信し、それを車が受信し、より安全な自動運転を可能にする。渋滞や大気汚染等の社会問題も一気に解決できる。

車だけでなく、街全体を自動運転のために変えようと中国では進めている。しかし、現在は車に性能を植えて自動運転させるのが一般的である。興味をもって探してみると「カーセンサー」という雑誌で特集を組んでいて、自動運転は既に1939年のニューヨーク万博で報告されています。高速道路に金属の線をいれてその後をついていくというものです。人間の運転は、目で見て認識→判断→操作→また認識、その繰返しです。人間の運転を、いかに自動車にさせるかが課題です。

車の運転では、先の信号が青でも、手前が赤信号であれば動かない。センサーの認識だけでなく、判断もして運転している。従来の考え方は信号を探す→青なら進む、赤なら停まる、黄色ならどうする、こういったプログラミングをしていたが、それでは手間がかかりすぎるため、近年では人間の脳のように、AIで記憶して判断するようになってきている。(碁の理論) AIの学習は人間の学習よりもずっと速く知識もふえる。販売したばかりの車と、しばらく走った車では性能が変わってくる。常にバージョンアップして機能をかえていく方向にある。

自動運転には5段階あり、レベル0が普通の車、自動ブレーキ搭載がレベル1、センターラインを感知したり、ある程度手を離せるのがレベル2、レベル3は一定条件下では必要なときにドライバーの操作に変わる。日本では2030年には3割を目標にしている。レベル5は市街地の自動運転になる。

日産セレナが2016年に高速道路の車線を認識してハンドル操作しなくてもいい機能が搭載された。日産では2020年は市街地も大丈夫なロードマップを作成している。これはカメラだけでやっていて、レーダーやセンサーがついてなく値段も安い。目標のレベル5となるのに、各メーカーではF1を自動運転させようとしている。人間が乗っていないF1を開発して車どうしを競わせている。ブエノスアイレスの市街地コースにAIで走るF1カーで実証実験が行われたが、機械が壊れてリタイアしたという。

去年の時点で優れている車、テスラモーター (1768万円)、ボルボ、セレナ (301万円)、BMW (768万円)、ベンツ (727万円) の中でベンツが一番性能が良さそうだ。スバルも比較的安く、評判も良い。

自動運転になると生活が変わるといわれている。車が街中をまわっていて、必要なときに呼んで乗るようになるのが、効率的と言われる。

アウディでは、人が降りたら車が勝手に移動して、駐車する。人間が戻ると、車が来る。そういうシステムを考えている。こうなると法律がどうなるのか、法律も変わっていかなくてはならないと思います。



人間は数多な風景からも必要な情報を容易に取り出すことができる (提供 野田健男氏)

自動運転時代の道路交通法はどうあるべきか

技術の進化にともない法律にも求められる進化

自動運転は技術の進化だけでは実用化できない。技術進化と歩調をそろえるようにさまざまな法律の整備が必要だ。例えば道路交通法。人間以外が運転(認知・判断・操作)を行なうという過去になかった状況に対し、現在の道交法では対応しきれない部分が出てきている。また、道交法は「道路交通に関する条約(通称:ジュネーブ条約)」に基づいているため、日本だけが積極的に法改正することもできないし、いつまでも法改正せず、他国の足を引っ張ることも好ましくない。自動運転について警察庁の動きなどに詳しいジャーナリストの岩倉みこが最新の動向をレポートする。

TEXT: 岩倉みこ (Runko IWASADA) FIGURES: 自動運転の段階的実現に向けた調査検討委員会

(会報担当者: 渡部 二康 委員長)

やさしい気持ちは森から育ちます。

子供たちの未来のために森を守りましょう



函館北ロータリークラブ

環境保全と土に生きる会

森 秀樹

(広告掲載: 森 秀樹 会員)

◎ 5月23日出席報告 (森 秀樹 委員長)

会員	17名	出席率対象会員	16名
		出席規定免除会員(a)	0名
		出席規定免除会員(b)	1名
当日出席	14名	当日欠席	2名
他クラブ出席	0名	出席合計	14名
出席率		87.50%	

次回のプログラム

2018年7月1日(日) (6月27日(水)の移動です)

函館マラソン 第4エイド(汐見橋付近) 8時集合

給水作業終了後、大黒屋旅館にて例会を行います。

テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番